

事業記録

特別展記録



ワトソ 田の自画像

18世紀フランス美術展

ロココの精華—絵画・彫刻・装飾美術

Art Français du 18ème Siècle

1969・10・18～1969・12・14

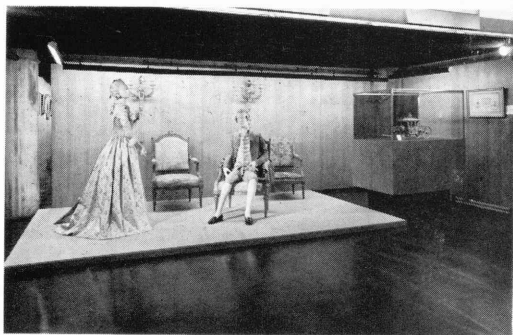
主催：国立西洋美術館・フランス美術館総局

出品内容—第I部	絵画	42点
第II部	彫刻	15点
第III部	デッサン	21点
第IV部	建築彫刻装飾デッサン	26点
第V部	版画	27点
第VI部	豪華装幀本	12点
第VII部	家具	6点
第VIII部	室内装飾ブロンズ	5点
第IX部	金工品	5点
第X部	陶磁器	31点
第XI部	タピスリー・衣裳	9点
第XII部	その他の工芸品	7点
		計 206点

入場者—100,142人

国立西洋美術館の開館10周年を記念して、フランス美術館総局の全面的な協力を得て開催された、日本で最初の大規模なロココ芸術の展覧会である。ルイ14世の偉大な統治の後を受けて、18世紀はフランスできわめて多彩華麗な文化の花が開いた時代であり、フランス文化の栄光がヨーロッパに君臨した時代であるが、その光輝

ある世紀のフランス美術の全貌を示すために、
絵画・彫刻はもとより、タピスリーや金銀細
工、家具、室内装飾品、陶磁器、衣裳など、12群
に分類して、あらゆる分野にわたって作品が選
択された。ルーヴル美術館、ヴェルサイユ宮美
術館、パリ装飾美術館を中心として、フランス
各地の主要美術館から出品されたこれらの作品
群の中には、ワトーの『恋の音楽師』、シャル
ダンの『トランプの城』、ブーシェの『ボンパ
ドゥール夫人』、フラゴナールの『恋の苦しみ』
などの絵画、ピガルの『ヴィーナスと鳩』、ウ
ードンの『グルックの胸像』などの彫刻、コワ
ペルの下絵による『ドン・キホーテ』のタピス
リー、マリー・アントワネットの肘掛椅子など
が数えられ、この時代の華やかな宮廷生活を背
景とした豪華な貴族趣味と、新興市民階級の堅
実な趣味とをうかがわせながら、ロマン派の先
駆となったフラゴナールや新古典主義の首領と
なるダヴィッドが登場して、19世紀への道を開
くまでのロココ文化の精華を総合的に概観せし
めるものであった。



巡回展記録

昭和44年度

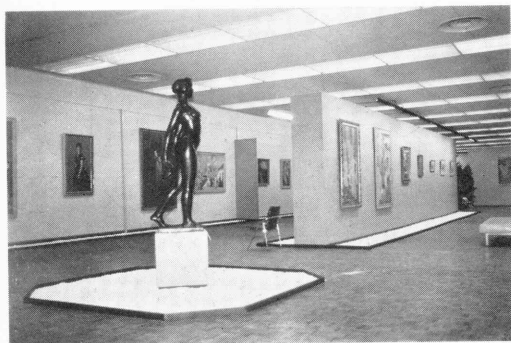
絵画：59点 彫刻：18点

●11月22日～12月21日

会場＝茨城県立県民文化センター

茨城県，同県教育委員会，県立美術博物館，同
県文化福祉事業団，茨城文化団体連合，茨城新
聞社と共催

入場者＝63,514人



講演会記録

昭和44年度

●国立西洋美術館夏季講座

「17世紀フランス美術」

8月2日

ルイ14世とその時代 高階秀爾

8月9日

ブーサンと古典主義 佐々木英也

8月16日

クロード・ロランと風景画 千足伸行

8月23日

ジョルジュ・ド・ラ・トゥールと光 黒江光彦

8月30日

シャンパーニュとジャンセニスム 穴沢一夫

(講師はいずれも当館事業課長および課員)

●「18世紀フランス美術展」特別講演会

10月18日

18世紀のヴェルサイユ

ヴェルサイユ美術館副館長 ビエール・ルモワース
(通訳 高階秀爾)

10月25日

ロココの美術

国立西洋美術館長 山田智三郎

11月1日

ワトーの世界

美術史家 坂崎 坦

11月8日

宮廷絵画と市民絵画

国立西洋美術館主任研究官 高階秀爾

11月15日

18世紀フランスの音楽

音楽評論家 遠山一行